

継続協議項目の検討の方向性について

※第25回（H23.9.14）、第26回（H23.10.12）、第27回（H23.11.09）での発言

具体的検討項目	論点（課題、問題点等）	主な議論
「⑦予算、決算などの説明資料の再検討」（その他）		
	【これまでの論点】 ○ 予算や決算の審議の充実、市民への公開のためには、どのような説明資料（議案や資料）があればよいか。	【これまでの主な発言】 ○ 市民と政策をつくっていくためには、議会の中身、政策の中身が市民にもっとわかりやすくなる必要がある。わかりやすくないと、一緒にやろうかという気持ちにもなりにくい。 そういう意味で、予算書の内容はもっと工夫してもいいのではないかと。 ○ 旧小俣町の予算書は、見やすく、細かいところまでチェックできたように思う。ただし、細かくすると、ボリュームが倍くらいにはなるかもしれない。 ○ 他市の事例では、事業の目的、予算化の理由などが記載された資料が議会に提出されている。このようなものがあると、もう少し中に入って、中身の議論ができるのではないかと。 ○ そのような資料があると、議会としても市民に対して説明がしやすい。 ○ ボリュームが増え、経費がかかってくるということであれば、市のホームページに掲載してもらえばいい。そうすれば、議員が自分で必要なところを見ることができる。 ○ 事務方の業務量のこととも考慮しながら検討する必要がある。 ○ 議員が担当課に要請して、予算要求書などの資料を提供してもらおうという方法もある。 ○ 決算についても同様に考えていく必要がある。

		○ 決算の資料としては、決算書と主要な施策の成果説明書などと、ほかに事務の概要書がある。事業の説明の部分のボリュームを上げようということでは、あれもこれもという資料が増えるばかりなので、主要な施策の成果説明書や事務の概要書を含めてどう改良していくかというふうに考えていってはどうか。 ○ 決算については、現在は、事務の概要書が議会が求めなくても議案に添付されているが、旧小俣町では、議会のほうから必要と認めるものを資料として提出するよう当局に求めていた。資料としては、本当に必要なものを議会のほうから当局に対して提出を求めるとというのが本来のあり方ではないか。 ○ 単に説明資料のボリュームだけが増えてしまうというのも困る。ここは当局にお願いしなければいけない部分だが、議論のしやすい状況をつくるような形でもう少しボリュームアップする方向で考えてはどうか。 ○ 財政担当部局で検討されている予算の説明資料には、大まかなものでよいが事業費の内訳も記載してほしい。 ○ 説明資料は、紙だけでなく、できればデータも提供していただけるとよいが。 ○ 説明資料が充実することは争点や論点の明確化にプラスとなるが、そこに書かれていないことも議論を通じてさらに明らかにしていくということも議会の役割として重要である。 ○ 事務の概要書は、担当課が事業の評価にどれだけ活用しているのか疑問。ただ単につくるだけに終わっていないか。 ○ 財政担当部局で検討されている予算の説明資料も、作成して終わりではなく、担当課が事業の評価に活用してほしい。
--	--	---